

事業評価個表

番号	交付金事業名		
1	原子力科学館展示物等のリニューアル工事(第二期工事)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		公益社団法人 茨城原子力協議会	
交付金事業者実施場所	茨城県那珂郡東海村村松		
交付金事業の概要	原子力科学館展示物等のリニューアル工事のうち、霧箱設置等の第二期工事を行う。		
総事業費	54,450,000	交付金充当額	54,450,000
		うち文部科学省分	27,225,000
		うち経済産業省分	27,225,000
交付金事業の成果目標	<p>原子力科学館の展示物は前回のリニューアル後約 10 年を経過し、陳腐化や老朽化が進み、補修費用の増加を招いている。一方、茨城県では JCO 臨界事故や福島第一原子力発電所の事故、さらには原子力施設の再稼働や高レベル廃棄物の問題等があり、県民に放射線や原子力に対する正確な情報を届ける重要性は以前にも増して高まっている。</p> <p>この現状に鑑み、原子力科学館展示物等のリニューアル構想を策定した。本構想に基づき、原子力科学館展示物等のリニューアル工事を実施することにより、来館者に対し放射線や原子力の安全に関する正しい知識の普及啓発を図る。</p>		
交付金事業の成果指標	原子力科学館展示物等のリニューアル工事(第二期工事)を着実に実施する。(リニューアル工事期間中も部分開館を予定しているため、部分開館時においても放射線や原子力の安全に関する知識の普及啓発が図れるような工事計画とする)		
交付金事業の成果及び評価	<ul style="list-style-type: none"> 原子力科学館展示物等リニューアル工事(第二期工事)のラジエーションボックス(-放射線の正体-)は、世界最大級の霧箱を中心に、放射線に関する体験アイテムや展示物を配置し、放射線についての正しい理解を来館者に促します。また、霧箱の飛跡をイメージしたストリングカーテン等を用いて霧箱の中で起こる現象の美しさや面白さを空間全体に拡張して伝えます。 来館者数は新型コロナ感染拡大の影響を受け、平成 30 年度の 21,264 人から、令和元年度 20,884 人、令和 2 年度 10,371 人と減少したが、令和 3 年度 15,972 人と回復の傾向にあり、令和 3 年 2 月に設置したガイドンスシアターや今回製作した霧箱設置等により、更に来館者増加のための有力な要素となるものと期待している。 		

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
原子力科学館展示物等のリニューアル工事(第二期工事)	指名競争入札による契約先選定	(株)乃村工藝社	54,450,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無し			